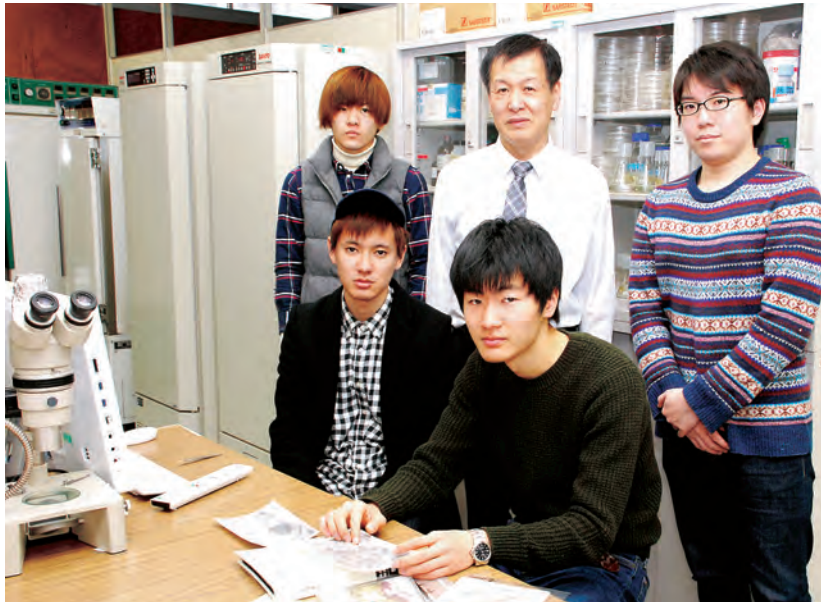


「2017年をいい年に」



ゼミの仲間と。手前右が鈴木さん、後列中央が高原教授

鈴木隆司さん(経済3)

開門神事で「一番福」

えびす神の総本社、兵庫県西宮市の西宮神社で本殿への参拝の一番乗りを競う開門神事福男選び。約5000人が参加した今年の「一番福」に輝いたのは鈴木隆司さん(経済3)だった。岩手県出身で大船渡市に住んでいた中学3年生の時に東日本大震災が発生、被災した。「全国から温かい支援をもらった。福を分け、自分が役に立てることがなんでもやって恩返ししたい」と、まっすぐ前を向いた。

キャンパス活動も積極的

「学生時代に一度挑戦してみたい」と。鈴木さんは1月10日の開門神事という幸運をめぐり、前日に、川崎市から西宮市まで列車で約8時間か

朝6時に開門。鈴木さんは好スタートを切り先頭に躍り出て、そのままゴールに飛び込んだ。距離にして230mを28秒で走った。「しばらく走っていないので持久力が心配。夢中だった」と笑顔で話す。



「一番福」になった鈴木さん(右) = 1月10日、西宮神社

花巻市生まれ。父親が警察官で岩手県内を移り住み、大船渡市にいた中学の3年間は、俊足を生かしてサッカー部で活躍、駅伝にも出場した。



2016年夏、石巻で。後列左から6人目

中学校で大きな揺れに襲われた。津波で自宅に戻れず、小学校の避難所で家族と会い、数日間を過ごした。自宅は浸水で泥にまみれ、津波の恐ろしさを見せつけられた。

専大北上高から経済学部に進み、学業でも課外活動でも積極的なキャンパス生活を送っている。専門ゼミの宮本光晴ゼミで企業経済を学んでいる

「好奇心旺盛で物事への理解が早い。人を思いやる気持ちが強く、ゼミ生が休んだ時はフォローしてあげていた」と語るのは、高原商学部教授。

「1年次春には学生部の海外セミナーでベトナムを旅した。石巻市でのボランティア活動では、仮設住宅で草刈りや清掃活動で汗を流し、小学生と運動会や交流。大船渡も石巻も、復興まではまだですが、一歩一歩進んでいると思います」

ほか、教養ゼミは2年次に阿藤正道ゼミで環境やリサイクルを学び、3年次には高原隆明ゼミで微生物観察や収集を行い、ゼミ長を務めた。

主なニュース

- 3学部・学科のインターンシップ報告会……
- 心理学専攻院生、研究やコンテストで活躍……
- 神奈川産学チャレンジで6チームが最優秀賞……
- 学内外で活躍 ゼミナールの取り組み紹介……
- 懸賞論文・文芸作品コンクールの表彰式……
- 石巻専修大学 米メーコン大学長らが来学……

「ピープルデザインプロジェクト」



オランダを訪問する8人

オランダの大学で成果発表へ

前場さん、堀内さんが発表する「質問ブック」の思い出を孫が書き留める質問ブック。前場香里さん、堀内水葵さん、一介さんと一緒に利用したシステムやBLE(近

やすいトイレ)大島夏美さん、小此木菜さん、松澤桃佳さん、栗芝、佐藤両准教授も報告を行う。プロジェクトは川崎市、東京都渋谷区、NPO法人、企業、大学(慶應大、青山学院大、デルフト工科大学)との連携事業。学生は介護関係者、認知症の人や家族などに会い、直面する問題点を聞き取り。静岡県富士宮市での合宿では、認知症の人の見守りシステムなどを学んだ。

「センダイ」LINEスタンプ配信中



平成28年度卒業式・学位記授与式のご案内
日時: 3月22日(水)午前10時30分開式
会場: 日本武道館(千代田区北の丸公園)
※詳細は2月24日(金)の卒業発表時の掲示 ホームページでご確認ください。

次号は3月24日(金)発行予定です

きらめく 生田の星々



「月望みの筒」と「ソラノキ」

望月さん(ネット情報4)卒業制作個展

ネットワーク情報学部4年次、望月陽太さんの個展「宙の便(そのらびん)」が1月18~20日、生田キャンパス10号館1階で開催された。

星と宇宙にまつわる卒業制作6点を展示。東京近郊で見ることができない星座を月ごとに記した「宙暦(そのらびん)」、月の満ち欠けをのぞくことができる「月望みの筒」、天文記号のオーナメント「ソラノキ」など。上平崇仁教授の下でデザインを学んできた望月さん。作品はシンプルかつ繊細で、観る人に星空の魅力伝える。「学部以外の人に作品を見てもらう機会がないので、個展を企画した。これをきっかけに星に興味をもってもらえればと話した。